

安全データシート(SDS)

作成日 2010年12月 13日

改定日 2020年 6月 4日

1. 化学物質等及び会社情報

製品名(商品名等):危険標示テープ

会社情報

販売元 : 日東エルマテリアル株式会社
住所 : 532-0011大阪府大阪市淀川区西中島四丁目3-24
サムティ新大阪センタービル5階
担当部門 : 品質保証課
電話番号 : 06-6101-0771 FAX番号 : 06-6101-0775

推奨用途及び使用上の制限 :

2. 組成、成分表

単一製品・混合物の区分 : 成型品

(該当する製品は成型品(Article)であり、公的にSDSが要求される化学製品ではありません。)

化学名又は一般名	ポリエチレン
化学式又は構造式	(C ₂ H ₄) _n
官報公示整理番号	エチレンホモポリマー
含有量	
CAS番号	9002-88-4

3. 危険性有害性の要約

最重要危険有害性

健康への有害性 : 常温の取扱いでは特に危険性はない。
環境影響 : 特になし。

物理的及び科学的危険性 : 生理学的に不活性であり、人体への特別な毒性作用はない。

分類の名称

GHS分類 : GHS分類基準には該当しない。

4. 応急処置

吸入した場合 : 通常の手配ではほとんど問題は考えられないが、加熱溶解時に発生した有害ガスを吸い込んだ場合は被災者を新鮮な空気のある場所へ移し、楽な姿勢を取らせる。必要な場合、医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 : 溶融物の場合は直ちに清浄な水で冷やし、皮膚上の固まった樹脂を無理に剥がさない。火傷があれば医師の診断を受ける。

目に入った場合 : 直ちに清浄な水で15分以上洗眼(出来ればコンタクトレンズを外して)し、医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合 : 口をすすぐ。必要な場合は医師の診断を受ける。
応急処置をする者の保護 : 特に必要事項はない。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 水、炭酸ガス、粉末消火薬剤など
- 火災時の特定危険有害性 : 火災時には有害ガス (CO₂、CO等) が発生する恐れがある。
- 特定の消火方法 : 人を風上の安全な場所に避難させ、消火作業は風上から行う。
- 消化を行う者の保護 : 必ず、自給式呼吸器、防火用保護衣等の保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : テープ状なので危険な漏出の可能性はない。
- 環境に対する注意事項 : テープ状なので危険な漏出の可能性はない。
- 除去方法 : 箒や掃除機等で全量ポリ袋等に回収する。
- 二次災害の防止策 : 付近に着火源となるものがあれば速やかに除く。
廃棄する場合は、「13. 廃棄上の注意」に従う。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : 水分、湿気、強酸化剤、熱源、火源との接触は、厳禁。
- 保管
- 適切な保管条件 : 破袋により荷崩れを起こし、最悪の場合、人身事故を招く可能性もあるので破袋の原因になる乱暴な扱い (落下させたり、衝撃を加えたり、引きずる等) をしない。
常温屋内保管。水濡れ・湿気・異物付着、混入・直射日光は厳禁。
- 安全な容器包装材料 : ダンボール梱包

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 設定されていない
- 管理濃度 : 設定されていない
- 許容濃度 : 設定されていない

保護具

- 呼吸器の保護具 : 保護マスク等を必要に応じて着用する。
- 手の保護具 : 保護手袋等を必要に応じて着用する。
- 目の保護具 : 保護メガネ等を必要に応じて着用する。
- 皮膚及び身体の保護具 : 保護前掛け、保護衣等を必要に応じて着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観

- 物理的状态 : 固体 (常温)
- 形状 : テープ状
- 色 : 表/黒色 ・ 黄色
- 臭い : 無臭
- pH : 測定項目に該当しない

物理的状態が変化する温度

融点	: 100～135℃
分解温度	: データなし
引火点	: 約340℃
発火点	: 400℃< (推定)
爆発特性	: 爆発性なし
密度	: 0.91～0.94 (g/cm ³)
溶解性	
水	: 溶解しない
その他	: 強酸化剤との接触を避ける。

10. 安定性及び反応性

安定性	: 常温では安定。
反応性	: 自己反応性はない。高温では一部熱分解する。着火源あれば燃える。
避けるべき条件	: 直射日光、高温多湿、火災、炎
避けるべき物資	: 強酸化剤との接触を避ける。
危険有害分解生成物	: 燃焼または熱分解時にCO ₂ 、CO等が出る可能性がある。

11. 有害性情報

急性毒性	: 現在のところデータなし。
局所（皮膚、眼等）影響	: 現在のところデータなし。
感作性	: 現在のところデータなし。
変異原性	: 現在のところデータなし。

12. 環境影響情報

残留性／分解性	: 生分解性はないと考えられ、環境中で長期残留すると思われる。
生体蓄積性	: 現在のところデータなし。

13. 廃棄上の注意

国、都道府県、市町村の規制に従い、産業廃棄物（廃プラスチック類の混合物）として処理する。但し、取扱の過程で接着剤、油等の付着剤がある場合には、処理方法が変わる場合もありますので、状況に応じて対処してください。

14. 輸送上の注意

国際規制	: 該当なし
国連分類	: 該当なし
国連番号	: 該当なし
国内規制	: 該当なし

輸送上の特別の安全対策及び

条件：破壊の恐れがあるので、丁寧に取扱い、荷崩れ防止及び水漏れ防止を確実にを行う。

1 5. 適用法令

消防法 火災予防条例 : 指定可燃物（合成樹脂類）の混合物
廃棄物の処理および清掃に

関する法律 : 産業廃棄物（廃プラスチック類の混合物）

1 6. その他の情報

その他 : 1)この情報は新しい知見に基づき改訂されることがあります。
: 2)記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の情報は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅したわけではありません。

記録内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性情報等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。

また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な場合は用途用法に適した安全対策を実施してください。